

事業評価に係るバックデータ

①一般国道6号 日立バイパス
(Ⅱ期)

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拓・BP・その他の別
一般国道6号	日立バイパス (Ⅱ期)	L=3.0km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
15,200~16,700	2	関東地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成23年度		
単純合計	228億円	31億円	260億円
基準年における 現在価値 (C)	167億円	9.1億円	177億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成23年度			
供用年	平成34年度			
単年便益 (初年便益)	16億円	2.1億円	0.29億円	18億円
基準年における 現在価値 (B)	208億円	27億円	3.8億円	239億円

③ 結果

費用便益比 (事業全体)	1.4
経済的純現在価値 (事業全体)	63億円
経済的内部収益率 (事業全体)	5.9%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析 (事業全体を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	15,200~16,700 台/日	±10%	1.2~1.5
事業費	228億円	±10%	1.2~1.5
事業期間	10年	±2年	1.2~1.3

交通状況の変化

様式-3①

事業名：一般国道6号 日立バイパス(Ⅱ期)

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] : 3.0km	交通量 ^{※1}	[台/日]	—	16,100	
	走行時間 ^{※2}	[分]	—	4	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	—	12.81	
②主な周辺道路 ^{※4}	日立市道 : 2.5km	交通量	[台/日]	14,900	5,700
		走行時間	[分]	8	5
		走行時間費用	[億円/年]	19.99	5.24
	国道245号 : 3.0km	交通量	[台/日]	21,300	16,900
		走行時間	[分]	5	4
		走行時間費用	[億円/年]	19.15	13.46
	(一) 会瀬港線 : 1.8km	交通量	[台/日]	15,200	9,100
		走行時間	[分]	3	2
		走行時間費用	[億円/年]	7.37	3.71
	国道6号(現道) : 3.8km	交通量	[台/日]	16,800	15,800
		走行時間	[分]	7.186	7.05
		走行時間費用	[億円/年]	21.53	19.83
③その他道路合計: 534.6km	走行時間費用	[億円/年]	901.03	898.52	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 548.7km	走行時間短縮便益	[億円/年]	969.06	953.57	15.49

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

事業名：一般国道6号 日立バイパス(Ⅱ期)



費用便益分析の条件

事業名: 一般国道6号 日立バイパス(Ⅱ期)

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成23年度	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
		複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
		整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		いずれかのみ推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
		その他()	<input type="checkbox"/>
	開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
		有	<input type="checkbox"/>
有の場合のみ		考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
その他()			
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
その他()		<input type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		() %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
			冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他 ()	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

事業名:一般国道6号 日立バイパス(Ⅱ期)

(4)

項目		チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input checked="" type="checkbox"/>
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>
		その他()	<input type="checkbox"/>
	維持管理費	関東地方整備局の実績値により設定	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>
	その他		
4. その他			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			

費用の現在価値算定表

箇所名: 一般国道6号 日立バイパス(Ⅱ期)				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.220	3.0	0.66	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-10年目	H 24	0.9615	90.0	0.48	0.46		
-9年目	H 25	0.9246	90.0	0.95	0.88		
-8年目	H 26	0.8890	90.0	1.19	1.06		
-7年目	H 27	0.8548	90.0	9.26	7.92		
-6年目	H 28	0.8219	90.0	18.20	14.96		
-5年目	H 29	0.7903	90.0	24.38	19.27		
-4年目	H 30	0.7599	90.0	33.34	25.34		
-3年目	H 31	0.7307	90.0	46.87	34.24		
-2年目	H 32	0.7026	90.0	46.87	32.93		
-1年目	H 33	0.6756	90.0	46.86	31.66		
供用開始年次	H 34	0.6496	90.0			0.63	0.41
1年目	H 35	0.6246	90.0			0.63	0.39
2年目	H 36	0.6006	90.0			0.63	0.38
3年目	H 37	0.5775	90.0			0.63	0.36
4年目	H 38	0.5553	90.0			0.63	0.35
5年目	H 39	0.5339	90.0			0.63	0.34
6年目	H 40	0.5134	90.0			0.63	0.32
7年目	H 41	0.4936	90.0			0.63	0.31
8年目	H 42	0.4746	90.0			0.63	0.30
9年目	H 43	0.4564	90.0			0.63	0.29
10年目	H 44	0.4388	90.0			0.63	0.28
11年目	H 45	0.4220	90.0			0.63	0.27
12年目	H 46	0.4057	90.0			0.63	0.26
13年目	H 47	0.3901	90.0			0.63	0.25
14年目	H 48	0.3751	90.0			0.63	0.24
15年目	H 49	0.3607	90.0			0.63	0.23
16年目	H 50	0.3468	90.0			0.63	0.22
17年目	H 51	0.3335	90.0			0.63	0.21
18年目	H 52	0.3207	90.0			0.63	0.20
19年目	H 53	0.3083	90.0			0.63	0.19
20年目	H 54	0.2965	90.0			0.63	0.19
21年目	H 55	0.2851	90.0			0.63	0.18
22年目	H 56	0.2741	90.0			0.63	0.17
23年目	H 57	0.2636	90.0			0.63	0.17
24年目	H 58	0.2534	90.0			0.63	0.16
25年目	H 59	0.2437	90.0			0.63	0.15
26年目	H 60	0.2343	90.0			0.63	0.15
27年目	H 61	0.2253	90.0			0.63	0.14
28年目	H 62	0.2166	90.0			0.63	0.14
29年目	H 63	0.2083	90.0			0.63	0.13
30年目	H 64	0.2003	90.0			0.63	0.13
31年目	H 65	0.1926	90.0			0.63	0.12
32年目	H 66	0.1852	90.0			0.63	0.12
33年目	H 67	0.1780	90.0			0.63	0.11
34年目	H 68	0.1712	90.0			0.63	0.11
35年目	H 69	0.1646	90.0			0.63	0.10
36年目	H 70	0.1583	90.0			0.63	0.10
37年目	H 71	0.1522	90.0			0.63	0.10
38年目	H 72	0.1463	90.0			0.63	0.09
39年目	H 73	0.1407	90.0			0.63	0.09
40年目	H 74	0.1353	90.0			0.63	0.09
41年目	H 75	0.1301	90.0			0.63	0.08
42年目	H 76	0.1251	90.0			0.63	0.08
43年目	H 77	0.1203	90.0			0.63	0.08
44年目	H 78	0.1157	90.0			0.63	0.07
45年目	H 79	0.1112	90.0			0.63	0.07
46年目	H 80	0.1069	90.0			0.63	0.07
47年目	H 81	0.1028	90.0			0.63	0.06
48年目	H 82	0.0989	90.0			0.63	0.06
49年目	H 83	0.0951	90.0	-13.72	-1.30	0.63	0.06
合計				214.68	167.40	31.43	9.12
単純事業費計				228.40		31.43	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

路線名	箇所名	車線数	延長
国道6号	日立バイパス(Ⅱ期)	2	3.0km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				18,035	
	改良費				9,575	
		土工	式	1	6,892	切土(30,216m ³)、盛土(30,216m ³)、購入土(520,353m ³)、護岸工(1,762m)
		軟弱地盤改良工	m ³			
		法面工	m ²	53,220	780	切土法面、盛土法面、落石防止
		擁壁工	式	1	1,746	ブロック積擁壁、補強土壁
		管渠工	m	276	32	
		函渠工	m	29	43	
		排水工	m	4,492	70	
		中央分離帯工	m			
		雑工	式	1	11	側道工
	橋梁費				8,092	
		100m以上	m	1,243	5,681	4橋
		100m未満	m	123	2,411	2橋
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				345	
		車道舗装	m ²	32,612	321	
		歩道舗装	m ²	7,162	24	
	付帯施設費				22	
		交通管理施設工	式	1	22	防護柵工
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				2,474	
	用地費		m ²	32,818	1,372	
		宅地	m ²	27,121	1,338	
		田畑	m ²	890	11	
		山林・荒地	m ²	4,807	23	
		その他	m ²			
	補償費		式	1	1,102	
③	間接費		式	1	3,404	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				23,913	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

②一般国道138号 新屋拡幅

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拓・B P・その他の別
一般国道138号	新屋拡幅	L=2.6km	二次改築	現拓

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
19,300~34,000	4	関東地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成23年度		
単純合計	77億円	34億円	111億円
基準年における 現在価値 (C)	58億円	10億円	68億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成23年度			
供用年	平成34年度			
単年便益 (初年便益)	16億円	0.87億円	0.067億円	17億円
基準年における 現在価値 (B)	211億円	12億円	0.88億円	223億円

③ 結果

費用便益比 (B/C)	3.3
経済的純現在価値 (B-C)	155億円
経済的内部収益率 (EIRR)	13.1%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	19,300~34,000 台/日	±10%	3.0~3.6
事業費	77億円	±10%	3.0~3.6
事業期間	10年	±2年	3.0~3.4

交通状況の変化

事業名：一般国道138号 新屋拡幅

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] : 2.6km	交通量	[台/日]	21,500	28,600	
	走行時間	[分]	6	3	
	走行時間費用	[億円/年]	22.19	16.40	
②主な周辺道路	国道139号: 3.1km	交通量	[台/日]	11,200	10,000
		走行時間	[分]	7	7
		走行時間費用	[億円/年]	18.18	12.53
	山中湖忍野富士吉田線: 1.8km	交通量	[台/日]	19,000	13,900
		走行時間	[分]	2	2
		走行時間費用	[億円/年]	7.49	5.10
	国道138号(東富士五湖道): 7.3km	交通量	[台/日]	3,400	3,100
		走行時間	[分]	6	6
		走行時間費用	[億円/年]	3.88	3.62
③その他道路合計 121.1km	走行時間費用	[億円/年]	296.90	295.49	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 135.9km	走行時間短縮便益	[億円/年]	348.64	333.15	15.50

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

事業名：一般国道138号 新屋拡幅



費用便益分析の条件

事業名: 一般国道138号 新屋拡幅

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成23年度
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 () % 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載			
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 () 日 採用した通行止め日数の考え方を記載	
			とり止め交通を考慮する <input type="checkbox"/> とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数 () 日 採用した冬期日数の考え方を記載	
冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載				
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

(4)

項目		チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input checked="" type="checkbox"/>
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>
		その他()	<input type="checkbox"/>
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
		関東地方整備局の実績値により設定	
雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
その他			
4. その他			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			

費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道138号 新屋拡幅

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

年次	年度	割引率 4%	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
				0.28	2.6	0.72	
-10年目	H 24	0.9615	90.0	0.48	0.46		
-9年目	H 25	0.9246	90.0	1.09	1.00		
-8年目	H 26	0.8890	90.0	1.09	0.97		
-7年目	H 27	0.8548	90.0	6.77	5.79		
-6年目	H 28	0.8219	90.0	9.06	7.45		
-5年目	H 29	0.7903	90.0	15.35	12.13		
-4年目	H 30	0.7599	90.0	17.00	12.92		
-3年目	H 31	0.7307	90.0	14.72	10.76		
-2年目	H 32	0.7026	90.0	10.13	7.12		
-1年目	H 33	0.6756	90.0	1.00	0.68		
供用開始年次	H 34	0.6496	90.0			0.69	0.45
1年目	H 35	0.6246	90.0			0.69	0.43
2年目	H 36	0.6006	90.0			0.69	0.41
3年目	H 37	0.5775	90.0			0.69	0.40
4年目	H 38	0.5553	90.0			0.69	0.38
5年目	H 39	0.5339	90.0			0.69	0.37
6年目	H 40	0.5134	90.0			0.69	0.35
7年目	H 41	0.4936	90.0			0.69	0.34
8年目	H 42	0.4746	90.0			0.69	0.33
9年目	H 43	0.4564	90.0			0.69	0.31
10年目	H 44	0.4388	90.0			0.69	0.30
11年目	H 45	0.4220	90.0			0.69	0.29
12年目	H 46	0.4057	90.0			0.69	0.28
13年目	H 47	0.3901	90.0			0.69	0.27
14年目	H 48	0.3751	90.0			0.69	0.26
15年目	H 49	0.3607	90.0			0.69	0.25
16年目	H 50	0.3468	90.0			0.69	0.24
17年目	H 51	0.3335	90.0			0.69	0.23
18年目	H 52	0.3207	90.0			0.69	0.22
19年目	H 53	0.3083	90.0			0.69	0.21
20年目	H 54	0.2965	90.0			0.69	0.20
21年目	H 55	0.2851	90.0			0.69	0.20
22年目	H 56	0.2741	90.0			0.69	0.19
23年目	H 57	0.2636	90.0			0.69	0.18
24年目	H 58	0.2534	90.0			0.69	0.17
25年目	H 59	0.2437	90.0			0.69	0.17
26年目	H 60	0.2343	90.0			0.69	0.16
27年目	H 61	0.2253	90.0			0.69	0.15
28年目	H 62	0.2166	90.0			0.69	0.15
29年目	H 63	0.2083	90.0			0.69	0.14
30年目	H 64	0.2003	90.0			0.69	0.14
31年目	H 65	0.1926	90.0			0.69	0.13
32年目	H 66	0.1852	90.0			0.69	0.13
33年目	H 67	0.1780	90.0			0.69	0.12
34年目	H 68	0.1712	90.0			0.69	0.12
35年目	H 69	0.1646	90.0			0.69	0.11
36年目	H 70	0.1583	90.0			0.69	0.11
37年目	H 71	0.1522	90.0			0.69	0.10
38年目	H 72	0.1463	90.0			0.69	0.10
39年目	H 73	0.1407	90.0			0.69	0.10
40年目	H 74	0.1353	90.0			0.69	0.09
41年目	H 75	0.1301	90.0			0.69	0.09
42年目	H 76	0.1251	90.0			0.69	0.09
43年目	H 77	0.1203	90.0			0.69	0.08
44年目	H 78	0.1157	90.0			0.69	0.08
45年目	H 79	0.1112	90.0			0.69	0.08
46年目	H 80	0.1069	90.0			0.69	0.07
47年目	H 81	0.1028	90.0			0.69	0.07
48年目	H 82	0.0989	90.0			0.69	0.07
49年目	H 83	0.0951	90.0	-14.08	-1.34	0.69	0.07
合計				62.61	57.93	34.30	9.95
単純事業費計				76.69		34.30	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道138号	新屋拡幅	4	2.6km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費			式	1	2,099	
	改良費		式	1	800	
		土工	m ³	40,220	68	切土工20,110m ³ 、盛土工15,600m ³ 、捨土工4,510m ³
		軟弱地盤改良工	m ³			
		法面工	m ²	3,272	37	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	44	L型擁壁、重力式擁壁
		管渠工	m			
		函渠工	m	235	22	
		排水工	m	5,156	458	
		中央分離帯工	m	1,970	128	
	雑工	式	1	43	植栽	
	橋梁費		式	1	227	
		100m以上	m			
		100m未満	m	45	227	
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費		式	1	684	
		車道舗装	m ²	44,583	623	
		歩道舗装	m ²	15,221	62	
付帯施設費		式	1	387		
	交通管理施設工	式	1	387	通信管路工、標識工、防護柵工、等	
	遮音壁	m				
間接費		式				
②用地及補償費		式	1	4,747		
	用地費		m ²	36,992	1,408	
		宅地	m ²	29,024	1,306	
		田畑	m ²	6,495	97	
		荒地	m ²	1,473	4	
		その他	m ²			
補償費	式	1	3,339			
③間接経費		式	1	1,136	調査、測量、設計にかかる費用及び予備費	
全体事業費				7,982		

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、関東地方整備局原単価、土木工事積算標準単価、建設物価及び管内事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、公示地価、農地・林地取引価格及び建築着工統計調査による建築単価を使用